

広域紋別病院経営強化プラン 実施状況点検・評価報告書

令和8年1月

令和6年度「広域紋別病院経営強化プラン」実施状況点検評価報告書

「広域紋別病院経営強化プラン」について、令和5年度の実施状況について点検評価を実施したので、その結果を次のとおり報告する。

団体名	広域紋別病院企業団
強化プランの名称	広域紋別病院経営強化プラン
策定月	令和5年3月
計画期間	令和5年度～令和9年度
病院名	広域紋別病院
所在地	北海道紋別市落石町1丁目3番37号
病院事業管理者	企業長 緑川 泰
病院管理者	院長 曾ヶ端 克哉
診療科目	内科（総合診療科、循環器内科）、消化器内科、呼吸器内科、外科、産婦人科、小児科、眼科、整形外科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、脳神経内科、麻酔科
病床数	150床（一般148床、感染2床）
各種指定	第二種感染症指定医療機関、原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関、救急告示病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域センター病院、臨床研修病院、エイズ治療拠点病院、特定疾患治療研究事業委託医療機関、小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関等、DMAT指定医療機関、地域周産期母子医療センター、認知症疾患医療センター（連携型）等

1 令和6年度広域紋別病院企業団病院事業決算状況（税込額）

病院事業決算は、病院事業収益 3,604 百万円、病院事業費用 4,451 百万円となり、▲847 百万円の収支不足となった。

この決算状況を経営強化プランの収支計画と照合すると、病院事業収益については、収入見込額 4,316 百万円に対し収入が 3,604 百万円となり、病院事業費用については支出見込額 4,286 百万円に対し支出が 4,451 百万円したことにより、令和6年度決算における純利益は見込額 30 百万円に対し▲847 百万円となった。

なお、経営強化プラン見込額と実績額の主なる乖離理由は、次のとおりである。

（病院事業収益）

(1) 医業収益のうち入院収益は 1,351 百万円と見込んだが、入院患者数・入院診療単価ともに見込値を下回ったため、119 百万円の減収となった。

(2) 医業収益のうち外来収益は 1,044 百万円と見込んだが、外来患者数・外来診療単価ともに見込値を下回ったため、29 百万円の減収となった。

(3) 医業外収益のうち補助金を 908 百万円と見込んだが、そのうち 698 百万円と見込んだ基金収入補助金の財源である財政調整基金を国債で運用しており、昨今の金利上昇により、中途解約すると 2 億円程度の損失が発生することとなるため、繰入を行わなかったことから、基金収入補助金は 698 百万円減少、補助金全体では、656 百万円の減少となった。

（病院事業費用）

(1) 医業費用のうち医師職員を含む職員給与費は 2,475 百万円と見込んだが、目標とした職員数を下回ったため、2 百万円の減少となった。

(2) 医業費用のうち材料費は 537 百万円と見込んだが、高額注射薬薬品の使用、物価高による購入額の増加等により 32 百万円上回った。

(3) 医業費用のうち経費は 765 百万円と見込んだが、物価高や労務単価上昇による委託料の増加、常勤医師不足により非常勤医師が増加したことによる旅費や賃借料等の増加、修繕費の増加等により、86 百万円上回った。

2 「広域紋別病院経営強化プラン」に掲げる経営指標等の数値目標及び実績

(1) 令和6年度経営指標、経常収支比率及び修正医業収支比率に係る数値目標

経営指標	単位	R5年度 実績	R6年度 目標	実績	比較
				R6年度	
① 常勤医師数（3月末時点）	人	14	17	14	▲3
② 常勤看護師数（3月末時点）	人	76	93	76	▲17
③ 経常収支比率	%	99.7	100.7	80.7	▲20
④ 医業収支比率	%	58.9	60.7	56	▲4.7
⑤ 修正医業収支比率	%	63.4	58.9	59.4	0.5
⑥ 職員給与費比率	%	98.5	97.1	103.7	6.6
⑦ 委託費比率	%	11.7	11.1	12.8	1.7
⑧ 該当材料費（給食材料費除く） ÷急性期・地ケア病棟及び外 来の収益	%	24.1	22.0	25.3	3.3
⑩ 1日平均入院患者数	人	78.0	84.4	81.3	▲3.1
⑪ 病床稼働率（一般）	%	52.0	73.0	69.6	▲3.4
⑫ 病床稼働率（地域包括ケア）	%	79.5	90.0	82.4	▲7.6
⑭ 入院診療単価（一般）	円	41,519	48,700	43,998	▲4,702
⑮ 入院診療単価（地域包括ケア）	円	29,314	30,121	31,189	1,068
⑰ 室料差額収益	百万円	0.8	5	1.2	▲3.8
⑱ 1日平均外来患者数	人	343.5	344.5	329.2	▲15.3
⑲ 外来診療単価	円	12,451	12,714	12,594	▲120
⑳ 査定率（救急医療管理加算を 除く）	%	0.50	0.4	0.48	0.08
㉑ 計上差額（入外合計）	百万円	▲94	▲49	▲93	▲44
㉒ 年度末不良未収金残高（患者 負担金）	百万円	6	15	4	▲11
㉓ 不良債務	百万円	—	—	—	—
㉔ 不良債務比率	%	—	—	—	—
㉕ セラピスト数（3月末時点）	人	10	10	13	3

(2) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

経営指標	単位	R5 年度 実績	R6 年度 目標	実績	比較
				R6 年度	
① 救急車搬送件数	件	516	562	508	▲54
② 救急応需率	率	92.4	98	94.7	▲3.3
③ 紹介数	件	1,919	2,343	1,657	▲686
④ 紹介率	%	18.7	30	16.5	▲13.5
⑤ 逆紹介率	%	22.1	30	22.7	▲7.4
⑥ 初診患者数	人	13,684	11,592	12,243	651
⑦ 返書率（2週間以内）	%	66.9	80	76.1	▲3.9
⑧ 手術件数	件	421	539	533	▲6
⑨ 全身麻酔件数	件	274	245	255	10
⑧ 平均在院日数（一般病床）	日	15.3	15.0	17.4	2.4
⑨ 入院中の転倒・転落発生率	%	1.6	1.0	2.2	1.2
⑩ インシデント発生数	件	399	—	487	487
⑪ アクシデント発生数	件	2	—	1	1
⑫ 褥瘡発生率	%	1.7	1.0	1.6	0.6
⑩ 患者満足度調査満足率（外来）	%	76.2	80	85.3	5.3
⑪ 患者満足度調査満足率（入院）	%	92.0	95	93.8	▲1.2
⑫ 職員離職率	%	10.6	9	9.6	0.6
⑬ 職員年間平均超過勤務時間	時間	127.01	130	84.6	▲45.4
⑱ 職員有給休暇取得率	%	69.9	50	64.3	14.3
⑳ 職員夏期休暇取得率	%	94	95	82	▲13
㉑ 職員健康診断受診率	%	100	99	100	1

(3) 指標ごとの目標値達成及び未達成要因

1) 経営等指標

常勤医師数については、令和5年度末14名から2名減の12名となり、総合診療科常勤医師不在でのスタートとなった。

5月に外科医師1名（嘱託医）10月に総合診療科医師1名が着任し、14名体制となった。

しかし、1日平均入院患者数は、令和5年度実績77.8人から3.5名増の81.3人、

病床稼働率（一般病床）は令和5年度実績67.5%から2.1%増の69.6%、病床稼働率（地域包括ケア）については、令和5年度実績80.2%から2.2%増の82.4%となり、前年度と比較し患者数は増加となった。

患者数の増加により収益は改善されたが、労務単価の増及び診療体制の維持のため非常勤医師の増による人件費増及び委託費の増により修正医業収支比率は前年度63.4%から59.4%と減少となった。

入院診療単価（一般）について、令和5年度に対して2,479円と増加となったが、平均在院日数や救急搬送件数が目標よりも未達であるとともに、加算・管理料等の新規算定や件数増加が計画より下回り、目標値より▲4,702円と大きく乖離する結果となった

計上差額については、入院レセプト返戻の影響もあり、令和5年度実績と同額となり当初の目標数値より格差が拡大した。

2) 医療機能等指標

紹介数、紹介率、初診患者数については、総合診療科常勤医師不在により外来診療を一部休診にしたことから目標値を達成できなかった。

手術件数については、8月より眼科出張医師による白内障手術を再開したことから、手術件数は令和5年度421件に対し、令和6年度は112件増の533件と増加となった。

3 点検評価の総括

「広域紋別病院経営強化プラン」については、作成から企業長をトップとする「広域紋別病院経営幹部会議」を設置し職員一丸となって、強化プランの作成とプラン達成に向けた取り組む体制を整備した。

病棟再編に向けた取り組みとして、医療職の確保を目標として活動していたが、セラピストの確保は順調に進んでいるが、常勤医師、常勤看護師の確保が目標値を下回っており、より一層の対応が必要となる。

また、令和7年度以降の目標値について見直しを実施し、現状の診療状況に合わせた設定をおこなう。

今後とも、広域紋別病院が地域の中核病院として地域住民が求める良質な医療サービスを継続的に提供することが求められていることを再認識し、健全な経営体質への転換、更なる医療サービスの向上を目指し「広域紋別病院経営強化プラン」に掲げる各種政策への積極的な取り組みを実施していく。